

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 05 01	中期総合計画主要施策番号	1-03	担当課	部・課	建設部 河川課	
事業名	河川環境事業（公共【河川】）				内 線	3439	
					E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S44 ~	根拠法令等	河川法第9条				
実施方法	県が委託（社団法人低質浄化協会）					国庫・県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的（必要性）	水質の環境基準を超過している諏訪湖において、底泥の浚渫や水質浄化施設の整備等を行い、湖水の水質改善を目的とする。				
	対 象	諏訪湖（浄化）				
	目指すべき姿	「諏訪湖浄化等推進協議会」の意見踏まえ、湖内環境調査を実施し、今後対策工法の検討を行う。第6期諏訪湖水質保全計画（H24～）の中に新たな対策を位置づけ、浄化工法の本格実施への移行を目指す。				
	事業内容	・汚濁負荷（窒素・リン等の栄養塩類）を多く含む底泥の浚渫工（H19完） ・第5期諏訪湖水質保全計画に位置づけられている調査、試験施工等の実施 ・第6期諏訪湖水質保全計画への有効な対策工法の提案 旧統合河川環境整備事業（補助率：【国】1/3、【県】2/3）				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度（当初）	23年度事業費の主な内訳 (H24への繰越額：17,174千円) 1箇所当たり平均工事期間1年
	最終予算額 (A)		千円	25,806	59,158	64,000	
	決 算 額 (B)		千円	17,606	41,984		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	12,340	29,175	44,000	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.40	0.40	0.40	
		概算人件費 (C)	千円	3,327	3,303	3,303	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	20,933	45,287	67,303	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度（見込）	左記以外のH23年度実績 H23年度速報値 COD 4.0mg/ℓ 全窒素0.77mg/ℓ 全りん0.043mg/ℓ CODの平均値は前年度を若干下回り水質目標を達成した。 全窒素は前年度と同じであった。 全りんは6年連続で環境基準を達成した。 (効率指標 算出式) 事業費÷検討中の浄化工法数(4)
	諏訪湖浄化等推進協議会(活)	回	0	1	1	
	諏訪湖浄化に関する工法検討委員会(活)	回	1	2	1	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 浄化一工法当たりの検討コスト	千円/工法	5,233	11,322	16,826	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	市町村と県が連携を図り、諏訪湖浄化に関する諏訪湖における新たな水質浄化対策方法について検討する。			「諏訪湖浄化に関する工法検討委員会」を開催し、工法検討を行った。第6期諏訪湖水質保全計画（H24～）の中に位置づける浄化工法の試験施工を実施している。			b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・湖周の住民等の生活と密接な関係があるため、諏訪湖浄化に対する住民等からの要望は依然として強い。 ・河川法において、一級河川である諏訪湖の管理は県が行うものとされている。 ・浚渫に代わる水質浄化工法について、4工法の選定がなされ、試験施工を実施している。 ・効果の高い水質浄化工法を第6期諏訪湖水質保全計画に提案すべく、データの収集を進めている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善（有効性・効率性）の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析（今後の課題、取組方針等）	第5期諏訪湖水質保全計画で掲げた水質目標を達成するための調査と、第6期諏訪湖水質保全計画に新たな浄化対策を位置付けるための検討を進める。				
	特記事項					